



2008年3月5日 No.136

細川律夫国会事務所 Tel 03-3508-7513 Fax 03-3593-7148 E-mail g04091@shugin.go.jp
南越谷事務所 Tel 048-989-8788 Fax 048-989-5300 HP: http://minshu.org/hosokawa/

ガソリン税などの暫定税率は廃止を

2月末、自公与党は、衆議院本会議でガソリン税などの暫定税率維持を含む平成20年度予算案と関連法案を、民主党欠席のまま強行可決しました。このやり方に野党は強く抗議しています。道路特定財源・暫定税率の問題は、1月末の両院議長のあっせんにより「徹底した審議を行ったうえで、年度内に一定の結論を得るものとする」となっていますが、徹底審議という前提が崩れれば年度内の採決ということにはならないという議論もあり、参議院での予算案や歳入法案審議の行く末が注目されます。

国会ではそれに加え、イージス艦と漁船の衝突事故で明らかになった防衛省の紀律のゆるみと、石破防衛省の責任問題が議論されています。国民の命を守るはずの自衛隊が、本来救助にあたるべきヘリコプターを使い航海長を防衛省に呼ぶなど、まさに何が大切かを忘れた重大な問題です。ともかく、緊張感の欠如が原因で、あのような悲惨な事故を起こしたこと、そしてその後次々と明らかになった不始末はまったく許されないことです。

法務委員会始動

2月26日、この通常国会ではじめて法務委員会で質疑が行われ、細川律夫衆議院議員は、民主党『次の内閣』法務大臣として野党のトップバッターで鳩山法務大臣に質問をしました。

最初に、「ロス疑惑」について、大臣や警察庁に尋ねました。国内で無罪が確定している三浦氏を米国が27年ぶりに逮捕した、というこの件です。この逮捕に関し、米国から政府には一切連絡がなかったことが明らかになりました。



鳩山大臣は資格なし

もう一点は、鳩山大臣の失言についてです。鹿児島県議選違反事件で12人が逮捕・起訴され、裁判で無罪になった件について、大臣は「冤罪と呼ぶべきでない」と発言したことが大きな批判を呼びました。細川代議士は、「この発言は鹿児島の人たちに対する侮辱だ。」と大臣に迫りました。さらに、「友人の友人はアルカイダ」などの失言を引きながら、「法務大臣としてあまりに軽々であり、大臣の資格がないのではないか。」と追及しました。これらについて、大臣はひたすら謝罪に終始しまし



たが、心から反省しているようには見えませんでした。細川代議士は、「こういった発言を繰り返す人が、日本の法務行政のトップにいるということは、国

にとっても恥ずべきことです。大臣としてふさわしくないと、というのが実感でした。」と語っています。

日雇い派遣の禁止を提案

細川律夫代議士は、厚生労働委員会にも所属し、特に労働法制の担当をしていますが、現在、民主党の「労働問題作業チーム」では、細川代議士を中心に労働者派遣法の改正案を提出するための議論を重ねています。

昨今、非正規労働者が全体の3分の1を占め、低賃金で不安定な雇用が増加しています。なかでも大きな社会問題になっているのが、日雇い派遣を強いられている、ワーキングプアと言われている人たちの存在です。民主党では、雇用は本来直接で安定的なものであるべき、という立場で、非正規労働全体の問題を考えるなか、国会では特に「派遣」に注目し、法案提出のため、様々な人たちの意見を聞いています。

現在の方向は、日雇い派遣を含む2ヶ月以内の短期派遣を禁止し、派遣労働者など非正規労働者にも、広く雇用保険の加入を義務付けること、派遣先の責任範囲を拡大し、違法派遣や偽装請負などを防止すること、均等待遇原則を徹底し、派遣と正規職員との差別をなくすこと、などです。

松原団地を視察

2月20日、細川代議士は行田邦子参議院議員らとともに民主党埼玉県連を代表して、草加松原団地を視察し、団地自治会の皆さんと意見交換をしました。

松原団地では、駅近くに建て替えの高層ビル6棟がほぼ完成し、来年にはさらに2棟が完成する予定です。一方、住民は高齢化が進み、建て替えによって家賃が上が



ると新しい住宅に戻るのかなど、多くの不安を抱えています。

懇談のなかで住民の方々からは、「年金で払える家賃にしてほしい」などの声が相次ぎ、細川代議士は、「安心安全な住まいを確保することは国政の基本」と話し、住民の皆さんの声を国政に生かすよう努力すると約束しました。

県連定期大会行われる

3月1日、さいたま市で、上田埼玉県知事から来賓の出席のもと、第10回埼玉県連定期大会が行われ、枝野幸男代表、高橋努副代表などの人事案件を承認した後、活動方針などの提案に基づき、活発な議論が交わされました。細川代議士は、県連の常任顧問として締めめの挨拶をし、政権交代に向けた決意を述べました。

